

ほほえみ



桑野小学校保健室（平成30年12月4日）

かぜひき児童が増えるシーズンを迎えました。この時期、発熱、下痢嘔吐などの症状で、早退する児童も目立ち始めますので、健康管理には十分ご注意ください。

学校生活においてインフルエンザ様症状や下痢嘔吐症状が見られた場合には、ご連絡を差し上げます。お仕事等のご都合もあるかと思いますが、学校は集団生活であり、蔓延防止の観点からご理解とご協力をお願いいたします。

インフルエンザ流行シーズンを迎えました インフルエンザによる出席停止期間

「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで」

学校保健安全法施行規則



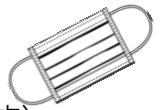
*「発症」は医師判断を優先し、医師判断がなければ医療機関受診日とします。その日は「0日」となります。

抗インフルエンザ薬の効果で、熱が下がってもインフルエンザウイルスの感染力はしばらくの間残っています。また、インフルエンザでは一旦熱が下がっても、再び発熱する場合があります（二峰性発熱）。出席停止期間に従い、感染力が弱くなるまで登校を控え、蔓延防止にご協力いただきますようご理解をお願いいたします。（停止期間については、主治医の指示がある場合には、基準のかぎりではありません）

症例	発症日	発症後							
		0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
例1	発熱 (受診日)	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	発症後 4日目	発症後 5日目			
	出席停止							登校可能	
例2	発熱 (受診日)	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目		
	出席停止							登校可能	
例3	発熱 (医師判断)	発熱 (受診日)	解熱	解熱後 1日目	解熱後 2日目	発症後 5日目			
	出席停止							登校可能	
例4	発熱 (受診日)	発熱	発熱	解熱	解熱後 1日目	解熱後2日目 発症後5日目			
	出席停止							登校可能	
例5	発熱 (医師判断)	発熱	発熱 (受診日)	解熱	解熱後 1日目	解熱後2日目 発症後5日目			
	出席停止							登校可能	

★ 登校前に発熱等のインフルエンザ様症状がみられましたら無理な登校は控え、早めの受診をお願いします。

★ 感染予防のため、マスクの準備をお願いします。（ランドセルに3～5枚）



発症後5日を経過しているが、解熱後2日の規定があるため、登校可能日は7日目となる。

発熱の翌日受診した結果、発熱初日もインフルエンザ症状と医師から判断された場合は、医師の判断日が発症0日となる。また、解熱後2日を経過しているが、発症後5日を経過していないため、登校可能日は6日目となる。

冬休みを利用して、むし歯をなおしましょう。

定期健康診断実施後、治療等の必要性があり、なおかつまだ治療等を受けていないお子さんを対象に、再度「受診のおすすめ」を配付いたします。（受診に要する時間の確保が難しいのか、高学年の受診率が低い傾向にあります。）

11月末現在の受診状況

虫歯治療率 : 55.7% (昨年度は56.5%)
口の衛生 : 60.1%

子どもの「口腔崩壊」という言葉を耳にするようになりました。むし歯が10本以上あったり、歯の根しか残っていない未処置歯が何本もある状態のようです。歯みがき習慣を身に付けなかったり、適切な治療を受けなかったりすると、心臓病や高血圧、糖尿病等の引き金になる危険性もはらみ、将来の健康も左右されてしまいます。せっかくの学校検診ですので、早期発見、早期治療に役立ててほしいと思います。

要注意！！

水痘(水ぼうそう)罹患者が増加傾向にあります。

郡山市内の小学校では、11月末からインフルエンザおよび水痘罹患者が増えてきました。本校でも今週に入り、低学年を中心に水痘に感染する児童が増加しています。規則正しい生活はもちろん、うがい、手洗い、マスクの着用で予防に心がけましょう。

紅斑、丘疹、水疱、のう疱、かさぶたの順に発疹が出現し、感染性の強い感染症です。時に、肺炎、脳炎、肝炎、急性脳症などを合併することもあります。発疹は、体と首のあたりから顔面に生じやすく、発熱しない例もあります。

【潜伏期間】 主に14日～16日

【感染経路】 空気感染、飛沫感染、接触感染（水疱やのう疱中にはウイルスがいる）

【登校基準】 全ての発しんがかさぶたになるまで出席停止となります。（医師の指示を仰いでください）